

逍遙館長のところ

「三国志・赤壁の戦いと11月のところ」

11月1日 逍遙^{逍遙}

突然ですが、今月11月は、3世紀前半の中国を舞台に、日本でもお馴染みの「三国志演義」の、その中でも特に「苦肉の策」「火計（炎上した船を魏軍の船団に突撃させる）」で有名な「赤壁の戦い」があった月です。

当時の中国は、四百年以上続いた漢が崩壊し、既成の権威や制度、価値観等にも疑問符がつく、明日が見えない、不確実な激動の時代でした。

私には、まさに幕末・明治維新期のような時代だったのでは、と想像されます。

そのような時、最も強大で天下統一目前の魏の曹操が、劉備と呉の孫権の連合軍に敗れ、退却したこの戦い。そこには、戦いの本質としての「謀略」と「卓越した情報収集力と分析力」、そして「大胆かつ慎重な戦略」が存在し、これらがその後の大陸国家としての「国づくり」に繋がったのでした。

今月11月は、組織を改革し、飛躍させ、そして世代を超えて継続させていくためには何が必要か、を考える、またとない月だと私は思います。

◎次回の予定「大久保利通・国づくりの精神と11月のところ」

